



kisei·kai
情 報 誌

輝生会本部と4拠点が語る2013年の展望と指針



理事長 石川 誠

2013年の年頭にあたり、一言
ご挨拶申し上げます。

医療法人輝生会は、2002年に初台リハビリテーション病院、2003年に在宅総合ケアセンター元浅草、2004年に在宅リハビリテーションセンター成城、2008年に船橋市立リハビリテーション病院の運営を開始し、4拠点で

事業展開する法人です。事業内容を簡単明瞭に表現すれば、「寝たきりにしない、寝かせきりにしない医療サービスの提供」です。

具体的には、急性期の病院から回復期リハビリテーションを必要とする患者さんを可能な限り早く受け入れ、入院による集中的・総合的リハビリテーションを提供することにより、在宅復帰を可能とすること。

さらに在宅復帰後は、通院・通所・訪問・短期入院などによるリハビリテーションを中心とした在宅ケアサービスを

事務局 局長 森本 榮

2013年、巳年、動物で表すと蛇です。蛇は神の使いとして信仰の対象や、蛇は金運を願う対象にもなります。日本の経済の立て直しは、巳年からという話も聞かれるぐらいに待ち望んだ年と考えます。医療、介護保険費用は高齢者の増加に伴い、注目されているところです。輝生会の医療、介護保険サービスが患者様ご家族から愛され、信頼されるために本年も継続して努力いたします。

古い殻を脱皮して、蛇足、蛇行でなく、確実に1段上のレベルを目指します。これら目標を達成するために、事務局職員一同「ヘビー」な業務に邁進します。

提供することにより、機能障害や日常生活活動の維持・向上をはかり、安心・安全な在宅生活が継続できるよう支援することを使命としています。この使命を全うするために、現在は1000名を超す職員数を擁する法人となりました。医師、薬剤師、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、臨床検査技師、放射線技師、管理栄養士、栄養士、調理師、医療事務等の専門職が、職種を超えたチームアプローチの徹底を根幹に据えた法人です。

幸い、昨年は初台リハビリテーション病院が無事に開院後10周年を迎え、本年は在宅総合ケアセンター元浅草が10周年の年になります。

これまで多くの方々に支えられ、なんとか事業を継続することができましたことを心から御礼申し上げます。

本年も更なるサービスの質の向上を目指して、なお一層の努力をいたす所存であり、何卒よろしくお願い申し上げます。

教育研修局 局長 小林 由紀子

昨年は年末のあわただしい中で衆議院議員選挙が行われ、日本の政治の顔が一気に変わりました。課題山積の中明るい暮らしを期待し、これから動向を見守っている方が多いことと存じます。輝生会では法人理念の下、安心や希望、そして在宅での元気な生活の実現を第一に考え、2013年も邁進していく所存です。確かな信頼関係を築き、皆さまのご期待にお応えできるよう法人スタッフ一同、チーム一丸となって努力してまいります。実は「チーム」とは、患者さま、ご家族もその一員に入っていただくと私は考えております。「チーム輝生会」を本年もどうぞよろしくお願いします。

基本理念と方針

- 「人間の尊厳」の保持
- 「地域リハビリテーション」の推進
- 「情報」の開示
- 「主体性・自己決定権」の尊重
- 「ノーマライゼーション」の実現

患者さまの権利

- 人権を尊重される権利
- 最善の医療を受ける権利
- 自らの意志で選択・決定する権利
- 自分の診療の情報や記録を知り、求める権利
- プライバシーの保護を求める権利

初台 リハビリテーション病院



院長 石原 茂樹

新年を迎え、患者さんの生活を見つめ、患者さんから笑顔がたくさんあふれるようにする。そういう存在になりたいと思っています。また、病院は理念の実現をめざし、今まで行ってきた内容を日々見直しアップデートする作業を継続する、今後ますます重要な回復期と維持期（生活期）の連携を強化する。通所リハの運営を軌道に乗せ、昨年同様信頼される病院づくりをめざします。本年も宜しくお願ひいたします。

リハケア部長 嶋 亜希

今年も皆様のおかげで無事に新しい1年を迎えることができました。「1人はみんなのために、みんなは1人のために」患者さんに対して、スタッフに対して、お互い助け合えるリハケア部でありたいと思っています。専門職種の集団として、知識やスキルが必要ですが、何よりも根底には、相手に対する思いやりの気持ちが大切です。ホスピタリティの心でもって、新しいことへチャレンジする1年にしたいと思います。

診療部長 菅原 英和

リハビリ医療と一般的な医療との大きな違いに、「患者さんの能動的（自発的）な参加の有無によって治療結果が大きく変わらう」という点があります。自発性は患者さん自身の意欲だけでなく、スタッフからの適切な介入（課題の選定・難易度調整、声掛け・説明等）があるかどうかによっても大きく影響します。

スタッフあるいはチームがタイミングよく最適な介入が出来るよう、病院をあげて取り組んでいきたいと思います。

サポート部長 高橋 誠

昨年は当院にとって開院10周年と節目の年を迎ました。ご支援・ご厚情を賜り、この場をお借りしお礼を申し上げます。十二支の「巳」は、植物に種子ができるはじめる時期と考えられるという意味があるようです。何かを始める、スタートの年としても考えられるのでしょうか。新年を迎えて、病院をご利用される皆さまのご意見を真摯に受け止め、「一つの見直し」「一つの改善」といった、積み重ねを大事にし、巳(み)年が実(み)のある年になりますように努力して参ります。

栄養部部長 桐谷 裕美子

今年初めてのお食事のお味はいかがでしたか？初台でこんな料理が食べられた！という感動の声を、1人でも多くの方から頂きたい気持ちで、栄養士、調理師が準備をしました。まだまだ、発展途上の部門ですが、今年もお食事で毎日のリハビリのサポートをしたいと考えております。年末年始のお食事の感想を、是非病棟の管理栄養士へお聞かせください。

船橋市立 リハビリテーション病院

院長 梅津 博道

船橋市立リハビリテーション病院は今年4月で開院6年目を迎えます。今年は病院機能評価の受審や当院が事務局を担当するリハビリテーション・ケア合同研究大会千葉の開催が控えており、これまで以上に慌しい1年になりそうです。

忙しさの中でもこれらイベントを通して、これまでの業務、システムを見直し、より良い方向に修正、またチームの質を高めて一体感を強化できる年にしたいと考えています。

リハケア部長 河原木 裕子

開院からこの5年間に当院を利用された患者さま、ご家族および関係各所の方々に支えられ、何とか一定水準のリハケアサービスが提供できる体制が整いました。

リハケアサービスの良し悪しは職員の数と質に依るところが大きいと言われており、今年春には念願の院内保育所が完成し職員の定着に期待がかかります。当院を利用される皆様そして職員に対してもやさしい病院であり続けたいと思います。

診療部長 鄭 統圭

昨年はiPS細胞の開発で山中伸弥教授がノーベル賞を受賞するという人類の未来にとって素晴らしい出来事がありました。iPS細胞は万能細胞で新たに様々な細胞を作ることができます。たとえば脊髄損傷で両脚が麻痺している人が、歩くことができるようになるという画期的な技術です。

機能障害が治るようになればリハビリテーションも大きく変わって行くことでしょう。早期の実現化を祈念して年頭の挨拶とします。

サポート部長 加納 知明

今年は巳年ですが、どのような意味があるのか調べてみたところ「漢書 律曆志」には、「止む」の意味の「巳(い)」が原字であり、草木の生長が極限に達して次の生命が作られはじめる時期、となるそうです（動物のヘビは当て字）。

当院も今年4月で開設から丸5年。

成長が極限…に少しでも近づくことができるよう、皆で精一杯努力していく所存です。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



在宅総合リハケアセンター 元浅草

センター長 堀見 洋継

誰でも自分の人生を振り返ってみると、自分の生き方を変えた、と思われるような大きなできごとや、との出会いがあるのではないかでしょうか。

在宅総合ケアセンター元浅草は、そこに集う全ての人ー患者さん、利用者さん、センターのスタッフ等一にとって、「人生に違いをもたらした場所」として想起してもらえるような、そういう場になれるよう努力していきたいと考えています。

副センター長 大木 英明

昨年は、在宅総合ケアセンター元浅草にとって大変な一年でした。

4月よりあらたに堀見センター長を迎えて、短時間通所リハの開設など一年を通して新しいことへの挑戦の年となりました。本年も昨年以上に精進する年と考えております。

スタッフ一同、患者様・ご利用者様・地域のために全力で邁進していく所存でありますので、宜しくお願い致します。

副センター長 松下 明美

2012年10月15日より在宅総合ケアセンター元浅草へ異動となり、新たな学びと感動の日々を送っています。

回復期リハ病棟で在宅を目指してきたつもりでしたが、在宅を目の当たりにして認識のずれを痛切に感じ、当センターの取り組みのすばらしさと地域からのニーズを強く感じています。そのニーズに応えるためにも当センターの目標である「サービス向上」「教育」「経営」の三つの柱の充実に向けて職務を成し遂げてまいりたいと思います。

サポート部マネジャー 鈴木 弘一

在宅総合ケアセンター元浅草では昨年の4月よりセンター長が交代し、「デザイン」、「変化」、「効率性」をスローガンに職員一同突き進んでおります。

私個人の新年の抱負といいたしましては、「スピード」です。とにかく早く早くをモットーに業務にあたっていきセンターを良い方向に導く力になれたらと考えています。



在宅リハビリテーションセンター 成城

センター長 柏木 潤一

おかげさまで、昨年後半の重点課題とした訪問系サービス(訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション)と通所系サービス(通所リハビリテーションの短時間コース、半日コース、1日コース)の拡充にも着手し、地域の皆さまからもご評価をいただき始めました。有難うございます。本年も鋭意先進、全職員一丸となり地域医療への貢献の発展のために精励いたします所存でございます。なにとぞご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副センター長 芹澤 恵美

昨年7月に異動となり、半年が過ぎました。まだまだ、地域に目を向けるまでは至っておりませんが、ご利用いただいている方々にも少しずつ顔を覚えていただき、お声をかけていただけるようになりました。皆様がご満足いただけるよう、また、スタッフが良いケアを提供できるよう、私が今できること、やるべきことを一つ一つやっていこうと思います。今後ともご支援、ご指導をお願いいたします。

副センター長 伊藤 隆夫

当センターが地域の医療・介護サービスの中核拠点に成長することが最重要課題と考え、それに向けてセンター内の各事業の基盤整備と効率化が求められます。特に昨年からスタートした在宅療養支援診療所と24時間体制の訪問看護ステーションとの連携強化とセンターとしての総合的な在宅支援機能を充実させることが重要です。そのために通所リハと訪問リハの実績の拡大と内容の充実が不可欠で、在宅を総合的に支えるセンター機能の基盤整備を図ってまいります。

サポート部部長 関口 好夫

在宅リハビリテーションセンター成城は、今年、開設してから節目の10年目を迎えることになります。

患者さんと介護をする方が何を必要としているかを捉え、その不安を取り除き、地域の皆様のご期待に応えられるよう努力を重ねてきました。

今後もますます、地域の皆様に信頼され、必要とされる「安全・安心」の在宅医療を提供できるよう、スタッフ一丸となって取り組んでいきたいと思います。



巳年にまつわる話あれこれ

巳年の幕が開きました。

ヘビは怖いイメージもありますが、古くから稻作や財産の守り神として信仰されているありがたい存在でもあります。

●善と悪の顔を持つ!?

巳年は、十二支の六番目。長くてヌルっとした姿はどうも苦手、という人も多いでしょう。「ヘビのような目」「ヘビのようなヤツ」と、気の毒な比喩にも使われるこの動物がなぜ十二支の動物に入っているか、正確なことは分かりません。ただ中国ではヘビの体を持つ女神が世界を作ったという説もあるほど非常に尊重される存在で、それが伝わったとも言われています。

「アダムとイブ」や「エジプトの神話」「中国の昔話」をはじめ、ヘビが登場する話は世界各地で、古くから伝えられています。日本のことわざにも「蛇の道はヘビ」「鬼が出るか蛇が出るか」「へびに睨まれたカエル」をはじめ、ヘビが登場するものはたくさんあります。こうしたことから、いかに人間とのつきあいが長いかが分かります。

数々の物語の話のなかで、ヘビは憎悪や恐怖、堕落といったマイナスのイメージを持つ半面、生命力が強いことから「命」のシンボル、富や美、知恵などの象徴と、実に多様な役柄を演じています。「巳年が3代続くとお金に困らない」という言い伝えもあるようで、まるで聖人から惡役までこなす、熟練役者のようです。

●明るく粘りやすく、立ち直りが早い

一般的に巳年生まれの人の性格は、嫉妬深い、執念深い、思慮深い、奥深い……と万事「深い」とも言われます。また何かを始めるとき、腰を上げるまでに時間を要するのも特徴。急かされたり、即決するのも苦手なので、じれったく思われることもあります。しかし、一度エンジンがかかれば、今まで溜めたパワーが一気に炸裂するかのように、テキパキと効率よく行動します。その気になりさえすれば、短時間で目標を達成することは珍しくありません。

性格的には、明るくて開放的。温かくて包容力があるので、巳年の人人がいると周囲の人はほっとするでしょう。強いリーダー

シップを取るより、サポート役

として見守るほうが性に合っているし、力を發揮できるはずです。

失敗したり、叱られたりしても、立ち直りが早いというたくましさや、ほめられると嬉しくてさらにファイトを燃やす愛すべき一面も持ち合わせています。勤勉さと粘り強さを持ち合わせ、

分からることは、納得するまで考えたり調べたりします。それがときどき執念深いと受け取られることも……。さらに普段は穏やかなのに、急にヒステリックになったり、クールな言動で周囲を驚かせることもありそうです。考えすぎて行動を起こせない、あるいはタイミングを逃しやすいのも、弱点。2013年は、とくには直感を信じて動いてもいいかもしれません。もうひとつの注意点は、浪費癖です。欲しいものを目にするとき、持ち前の熟考を忘がちなので、注意しましょう。

運勢は晩年に大成する漸進型。

相性がいい干支は、丑、寅、卯、辰、巳。



●巳年は荒れる!?

巳年生まれの代表格は、ゲーテ、ドストエフスキイ、サルトル、ピカソ、カンジー……。突出した才能とカリスマ性を持つ人を、数多く輩出しています。

また歴史的な大きな出来事も多く「荒れる巳年」の異名もあるようです。ノアの洪水も、イエスキリストの磔刑といった歴史的な出来事も、この年のことだとか。

日本では昭和天皇の崩御により、1月7日までが昭和64年、翌日からは平成元年になりました。非常に珍しい1989年も、巳年でした。ちなみに前回の巳年の2001年には、埼玉県に「さいたま市」が誕生、11月にイチロー選手がメジャーリーグ1年目で首位打者・盗塁王、新人王・MVP獲得などのニュースがありました。

今年はどうなるのでしょうか。経済面では、「辰年と巳年は円安傾向」と言われているので、状況の好転に貢献してほしいものです。

季刊情報誌「輝net」 編集・発行 医療法人社団 輝生会 〒151-0071 東京都渋谷区本町3-53-3

<http://www.kiseikai-reha.com>

初台リハビリテーション病院

〒151-0071 東京都渋谷区本町3-53-3

TEL.03-5365-8500

<http://www.hatsudai-reha.or.jp>

船橋市立リハビリテーション病院

〒273-0866 千葉県船橋市夏見台4-26-1

TEL.047-439-1200

<http://www.funabashi-reha.com>

在宅総合ケアセンター元浅草

〒111-0041 東京都台東区元浅草1-6-17

TEL.03-5828-8031

<http://motoasakusa-reha.com>

在宅リハビリテーションセンター成城

〒157-0072 東京都世田谷区祖師ヶ谷3-8-7

TEL.03-5429-2291

<http://seijo-reha.com>